



12月保健だより

平成28年12月1日 八千代保育園



◆ 感染性胃腸炎 ◆

ノロウイルスは冬の感染性胃腸炎の主な原因で、主な症状は、嘔吐や下痢、腹痛や軽度の発熱などです。通常は2～3日で回復しますが、乳幼児や高齢者など、体力のない人は重症化する場合があります。また、症状が治まった後も、1～2週間ほど便にウイルスが排出されることもあるので、注意が必要です。かかってしまったら嘔吐と下痢により急激に水分が失われます。脱水症にならないように、こまめな水分摂取を心がけつつ安静に過ごしましょう。

※感染予防のため、連続して嘔吐したり、発熱を伴う場合にはお迎えをお願いします。

今年も今日から師走。こども達もおたのしみ会に向けて普段より少し練習に忙しい日々を過ごしていますが、表情は意気揚々として忙しさすら楽しんでいるようです。

そんな中ですが、11月は下旬に入り、週末に嘔吐・下痢を発症し感染性胃腸炎の診断を受けたとの報告が一度に複数あがり、その後も多くの子ども達が嘔吐で欠席となりました。

区内でも複数の園や学校で同様の事が起きたそうで、ノロウイルスの診断が出るケースが多かったようです。当園の報告ではノロウイルスと診断を受けたお子さんはおりませんでしたが、病院で検査するケースが無く否定もできない状況です。

感染性胃腸炎は、違うウイルスや同一ウイルスでも型が違ふとくり返し罹患します。インフルエンザも区内で増えてきていますので、引き続き感染対策を強化して行きたいと思います。

ご家庭でも、嘔吐・発熱等ハッキリした症状だけでなく、食欲や顔色等が優れず、普段のように遊べないなど体調不良の兆しがみられる際の登園は良くご検討下さいませよう、ご協力をお願い致します。

11月～12月の園では

手洗い・うがい・マスク着用など感染予防を
子供達と共に意識するように心がけています。

ご家庭でも、帰宅時の手洗い・うがい・人込みに出る際のマスク着用などを促して下さい。

また、今年はインフルエンザ流行も例年よりも早いと言われ、既に区内でも罹患報告が増え始めましたので、発熱でお迎え頂く基準変更（37.5℃への引き下げ）も早めに検討致します。

引き下げが決定しましたら、玄関やクラスの掲示にてお知らせいたします。

知っておこう

おう吐物の処理

冬場に流行するウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスなどによって感染します。家庭でも二次感染予防のために、おう吐物の処理にご留意ください。

- ① 窓を開けて使い捨ての手袋とマスクを着け、使い捨ての布などでおう吐物を周辺からふき取る。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を薄めた消毒液で、おう吐物のあった部分を再度ふく。汚れた物はすべてポリ袋に入れ、それらは、消毒液をかけてから密封して捨てる。
- ③ おう吐物の付いた服は、85℃以上の熱湯に1分間つけてから洗濯する。
- ④ さらに乾燥機にかけたり、アイロンをかけたりすると、熱に弱いノロウイルスは死滅しやすい。



日程	内容
12月 7日(水)	身体測定 : 全クラス
12月 9日(金)	0歳児健康診断 : 内海園医